

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

2025年11月7日
株式会社MARUWA（5344）

ご注意事項

本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
将来の見込みに関する事項については、現時点で入手可能な情報に基づいており、
将来の事象により変動する可能性があり、内容を保証するものではありません。
なお、本決算説明会の模様は、今後の運営の向上のため録音録画いたします。

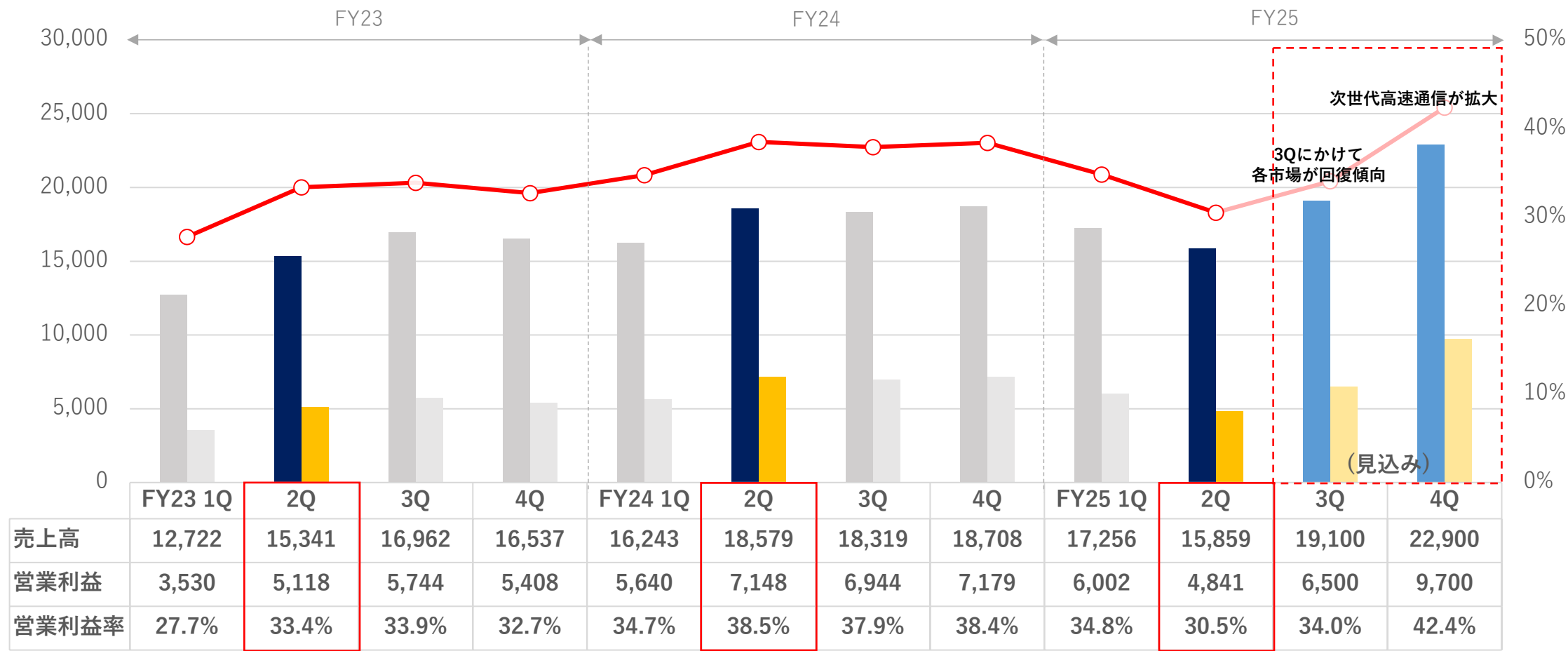
1. 決算概要

	FY2025 上期		FY2024 上期
		対前期増減 YoY	
売上高	33,115	△4.9%	34,822
営業利益	10,843	△15.2%	12,789
経常利益	11,123	△7.3%	11,999
中間純利益	7,413	△12.2%	8,440

(金額：百万円)

2. 四半期業績

- 2Qは、車載関連/半導体関連の市況が弱含んだが、3Qにかけて回復の見通し。
- 次世代高速通信向けの需要拡大により受注好調、4Qは四半期として過去最高の業績を見込む。



(金額：百万円)

3. 市場別売上高

■市場別売上高

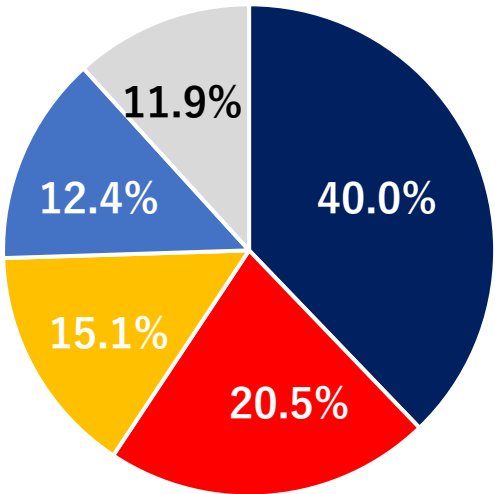
- 情報通信：次世代高速通信向けが高水準で推移。
- 車載：新エネルギー車を中心に在庫調整。3Qから回復の見込み。
- 半導体：汎用メモリ関連で市況により弱含みも、生成AI関連は好調に推移。

	25年度 上期(2Q)		24年度 上期
	億円	YoY	億円
情報通信	143(70)	+8.3%	132
車載	62(27)	△17.3%	75
半導体	44(22)	△17.0%	53
産業機器	42(20)	△12.5%	48
照明	42(22)	+2.4%	41

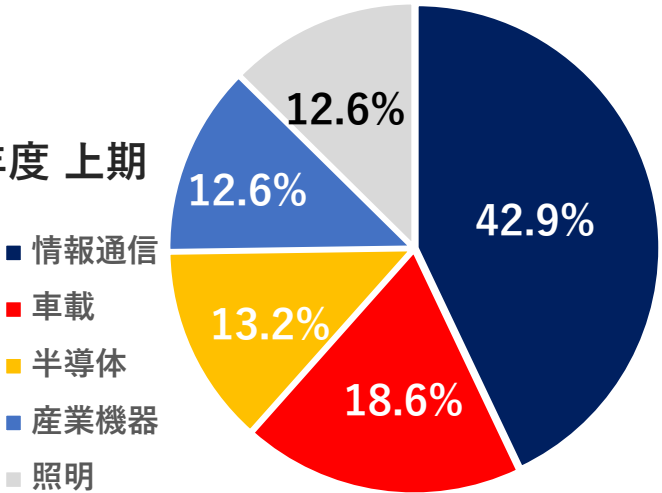
※上記は速報値となります。金額は億単位未満を四捨五入し記載しております。

■構成比

24年度 上期



25年度 上期



4. FY2025業績見通し

	通期		下期	
		YoY		YoY
売上高	75,100	+ 4.5%	41,985	+ 13.4%
営業利益	27,000	+ 0.3%	16,157	+ 14.4%
営業利益率	36.0%	—	38.2%	—

(金額：百万円)

- 下期は成長が加速し、通期で増収増益の着地を見込む。

車載/半導体は回復局面。

通信は次世代高速通信向けで大幅増産の見通し（次期モデル立ち上がり）。

- 通期で前期比+4.5%の成長を見込む（期初⇒現在）

通信+10%⇒+18% 車載+7%⇒△14% 半導体+8%⇒+1%

※想定為替レートについて
為替レートは、1ドル=144円を想定しております。

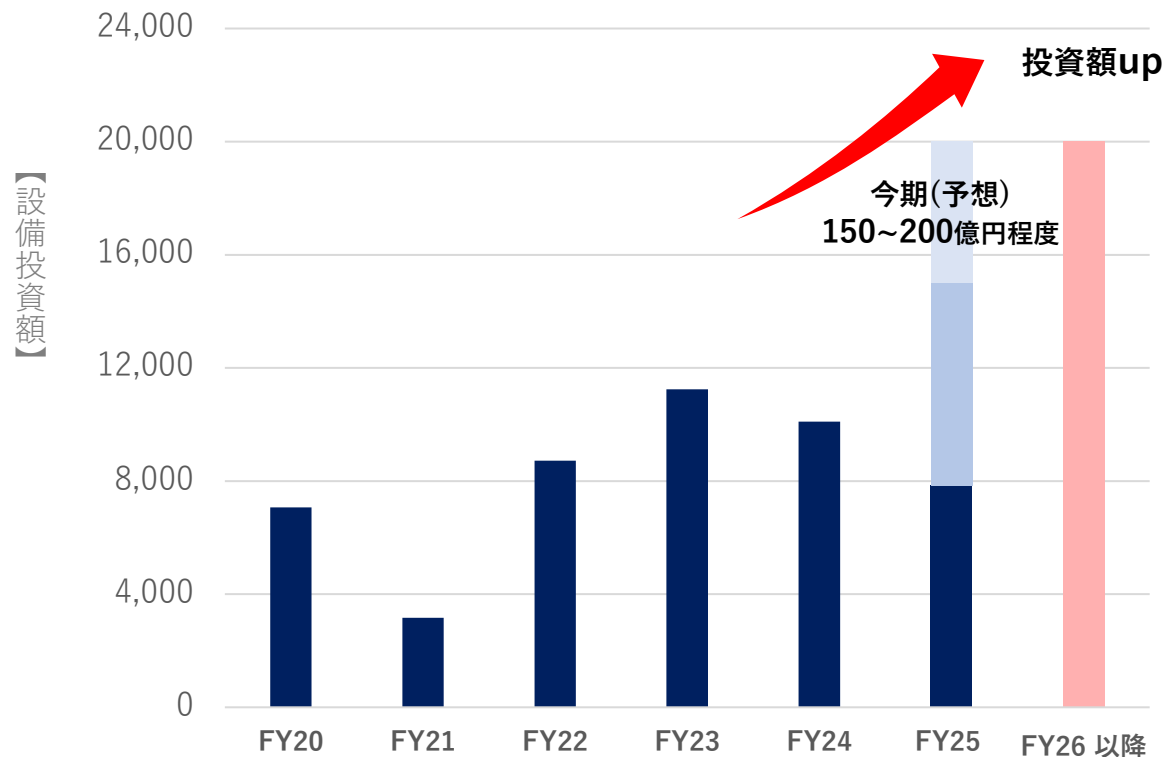
5. 今後の見通し（市場動向）

市場	状況
情報通信	・次世代高速通信の需要が強いことから、当初計画に対し上振れで進捗する見通し。 ・エンド需要が一層強くなっていることから、来期も一層の成長期待。
車載	・新エネルギー車関連は市況によりスローダウンも、在庫調整から回復傾向。 ・自動化や歩留まり向上によるさらなる収益体制の強化を図る。
半導体製造装置	・汎用メモリ関連が着実に回復することに加え、生成AI関連の需要が好調に推移。 ・高純度SiC製品も下期から拡大の見通し。
産業機器	・パワーモジュール関連は市況によりスローダウン。 ・一方で医療関連の新製品は需要が増加。
照明	・2027年蛍光灯製造禁止によるLED需要の増加や、首都圏の高級新築マンション市場の拡大に伴い、ハイエンド照明が堅調に推移。

6. 設備投資・減価償却

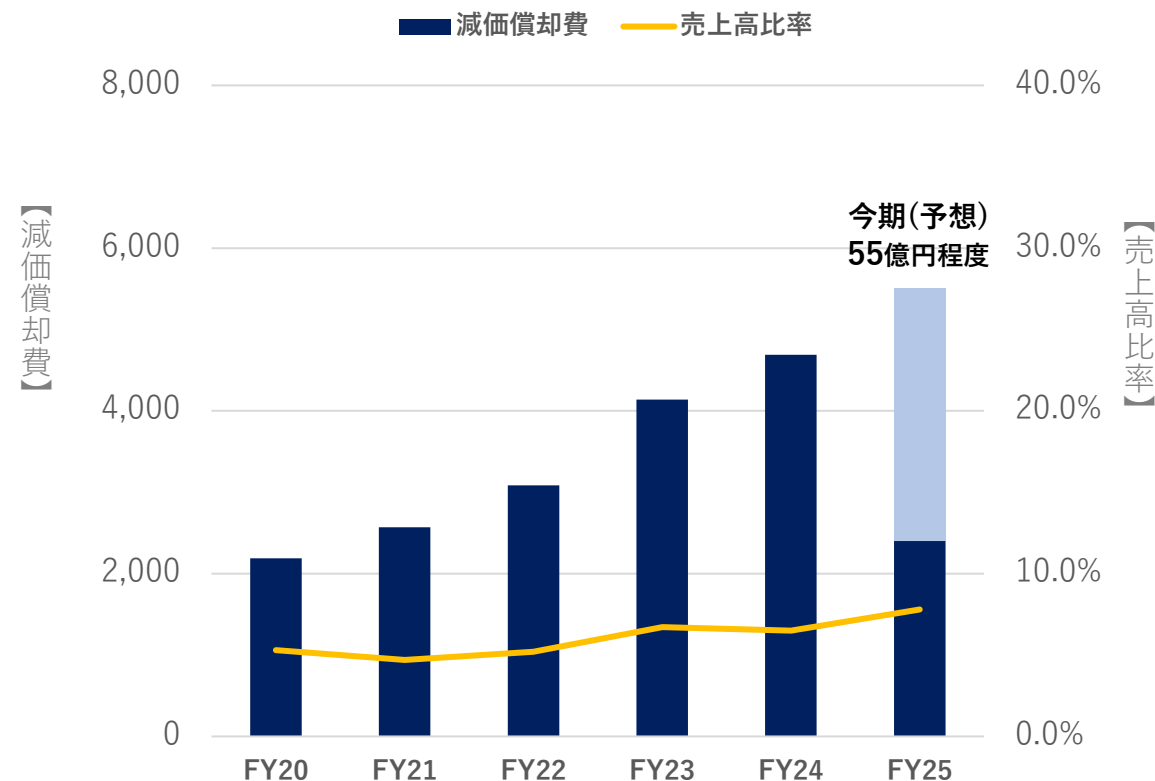
■設備投資

- 中長期での成長に向けた新工場・新棟への投資、生産性向上・品質向上に向けた投資
- 新工場計画は順調に進捗中



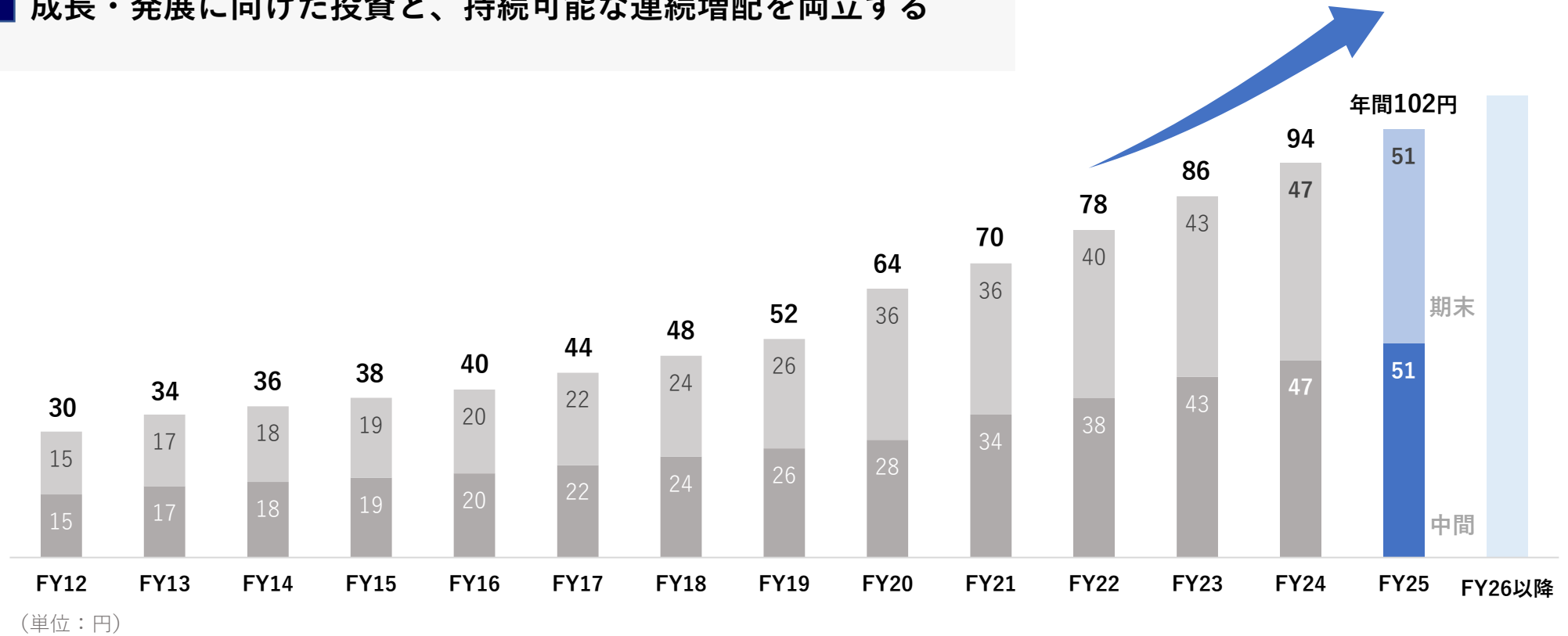
■減価償却

- 競争力・生産性の向上に着実につなげていく
- 市況を注視し、新規設備の稼働は柔軟に対応する



7. 配当

- 年間1株当たり102円を予定（8円増配）
- 今期で13期連続の増配
- 成長・発展に向けた投資と、持続可能な連続増配を両立する



今後も着実な連続増配を継続してまいります

